

つかはらなおや オリンピック塚原直也 選手との出会い

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、アテネオリンピック体操団体の金メダリスト、塚原直也選手をお招きしました。入退場時には、大きく美しい回転技を披露していただいたり、児童の質問に真摯に受け答えをしていただいたりしました。また、4年生を対象にした、マット運動と跳び箱運動の指導やクラスでの交流など、盛りだくさんの内容でした。最後に「諦めないことの大切さ」を話していただき、児童にとって忘れられない時間となりました。

谷戸第二小学校

児童を前に美しい倒立を披露



塚原選手との別れを惜しむ4年生

栄にあつまれ!!

昨年7月18日(土)に、「栄にあつまれ!!」がありました。このイベントは「こころの東京革命」の取組として、地域の大人と子どもたちのふれあいの場づくりとして発足しました。施設開放運営協議会が主催となり、地域の団体等にご協力いただき、学校中にたくさんのブースを出し、当日は、子どもや大人を合わせ、1,200人を超える参加者が集まりました。子どもたちは各ブースやパフォーマンスを楽しみ、2年に1度のイベントを満喫しました。

栄小学校



放水のデモンストラーション



いこい一なも参加



ヨーヨーつり

オリンピック・パラリンピック教育の推進

芝久保小学校では、オリンピック・パラリンピック教育推進校として、体力向上とオリンピック精神の育成に取り組んでいます。体育の学習や毎週水曜日の3分間走で体力の向上を図っています。また各教科、道德のほか、運動会やたてわり班活動等の行事において、「努力する喜び」、「フェアプレー」、「他者への尊敬」等オリンピック精神の育成を目指しています。

今後も、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、この取組を続けていきたいと思っています。



3分間走の様子

芝久保小学校

東京オリンピック・パラリンピックに向けて ～タグラグビー教室、持久走大会～

上向台小学校では学校行事や教育活動にオリンピック種目を取り入れています。今年度はタグラグビー教室を開催し、元ラグビー選手の今泉清さんをお迎えしました。子どもたちは、相手のいないスペースを駆け抜ける快感を味わっていました。

持久走大会は伝統行事となっています。隣接する小金井公園で低・中・高学年のコースをそれぞれが全力で走ります。完走などのめあてを持ち挑戦する姿は見応えがあり、各学年100人ほどの保護者の皆様が応援に来てくださいます。

運動の楽しさを味わい、自分に挑戦する心を育てている上向台小学校から、将来オリンピック選手などがきっと出ることでしょう。



上向台小学校

「共生」の素晴らしさを

特別支援学級が開設して2年目となる本年度。道徳授業地区公開講座に、医学博士であり、保健科学研究所所長の藤井輝明先生にお越しいただきました。

事前に全学級で、「てるちゃんのかお」の読み聞かせを実施。当日、5年生の教室では藤井先生がご自身の体験を語り質問会を行いました。講演会は子どもの心に響く内容であると同時に、140人ほど参加した保護者や地域の方からも「勇気をもらいました。」など、大きな反響がありました。

柳沢小学校



ご自身の体験をスクリーンで紹介しながら語る藤井輝明先生

2020年東京大会の「主役は君たちだ！」

本校では、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、講師の方々をお招きし、パラリンピアンによる講話、グローバルマナー教室、姿勢教室等を行いました。

また、校内の掲示板にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置し、また関連する本も充実させ児童が興味・関心を持てるような工夫をしています。

また、授業でもオリンピック・パラリンピックやフェアプレーについて学び、その中で、「主役は君たちだ！」の東小スローガンのもと、「どのような形で東京大会に参加してみたいか？」という夢を語りました。

東小学校



パラリンピック・バンクーバー大会アイススレッジホッケー銀メダリスト高橋和廣さんによる講話

けやき小のたてわり班活動

けやき小学校では、異学年の交流を通して、集団の一員としての自覚や思いやりの心、社会性を育てることをねらいとして、たてわり班活動を行っています。また、たてわり班活動のほか、たてわり仲良し給食、たてわり班清掃も実施しています。

低学年の児童が怪我をし、泣いていると優しく声をかける高学年をよく見かけます。心配そうに保健室をのぞいている姿は、たてわり班活動の成果ではないでしょうか。

けやき小学校



オープンスペースでだるまさんがころんだ。

外国語活動の充実とICT機器利用による授業改善

「6年間の英語教育を通して、グローバルな次世代を担うフロンティア人材を育成する」、「ICT機器の活用を充実させ、授業改善を図る」。これが、新生住吉小学校の大きな2つのコンセプトです。

英語授業に関しては1年生から6年生まで、20～55時間学習します。(平成27・28年度西東京市研究奨励事業特別研究指定校)

ICT関連では、市及び都からハード・ソフト両面のバックアップを受け、指導効率が上がるよう工夫しながらそれらを授業に組み込んで実践をしています。(東京都公立小学校ICT教育環境整備支援事業モデル協力校)

住吉小学校



都立大泉高校外国人講師との交流授業

タグラグビーの浸透

本町小の中休みや昼休みには、ラグビーボールを抱えて走る子どもたちが見られます。ラグビーチーム「横河武蔵野アトラスターズ」によるタグラグビー教室を、社会貢献活動として開催していただくようになり、7年目となりました。そのため、タグラグビーが子どもたちの日常に溶け込んでいます。

体の大きな選手との触れ合いにより、スポーツの楽しさとラグビーの精神を学びました。子どもたちは、もう既に次の教室を楽しみしています。

本町小学校

